



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えなさい。

2021年11月9日朝刊



全国に先駆けて「カーボンニュートラルポート」を目指す方針が決まった清水港
＝静岡市清水区(本社ヘリ「ジェリコ1号」から)

水素利用官民で推進

清水港脱炭素へ検討会

今月発足

静岡市の清水港で、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素(CO₂)排出ゼロを目指す官民の検討会が今月発足する。関係者への取材で8日分かった。「カーボンニュートラルポート(CNP)」を目指す官民の検討会設置を後押しする国の制度が2022年度にできることを見越した動き。中部横断自動車道の開通などで一層の

利用促進が期待される清水港で、全国に先駆けて手を上げ、採択を目標し、環境に優しい港を発信する。CNPに向けた検討会は「2050年カーボンニュートラル」を宣言した政府の政策に沿って、来年度に設置を後押しする費用などを国が初めて予算化する方針。国交省は9億

円を概算要求している。清水港では県と静岡市が石油元売り国内最大手のENEOS(エネオス)とそれぞれ、静岡市清水区袖師地区

清水港管理者の県などは、先行して議論を始める。制度がスタートする来年度当初、全国に先駆けてこの新制度に応募する。検討会の中核的議論になるのは太陽光よりも効率が高い次世代エネルギー源として期待される水素やアンモニアの活用。荷役機械のうち通称「キリン」と呼ばれるガントリークレーンや「RTG」と呼ばれるタイヤ式門型クレーンを水素由来の電力で稼働させることなどを想定する。

清水港では県と静岡市が石油元売り国内最大手のENEOS(エネオス)とそれぞれ、静岡市清水区袖師地区

にある同社清水油槽所の遊休地(約20ha)の活用で合意書を取り交わしている。50年までのロードマップ作成を一義的な目的とする検討会の取り組みでは、エネオスの遊休地活用が話題になる可能性もあるとみられる。今月設置する検討会に同社の参加を期待する声の関係者がある。

清水港では県と静岡市が石油元売り国内最大手のENEOS(エネオス)とそれぞれ、静岡市清水区袖師地区

①見出しの「脱炭素」とはどんなことか。

②一般に港湾地区での二酸化炭素排出の現状はどうか。

③「環境にやさしい港」として、清水港で想定している新たなエネルギー源は何か。

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校/社会、総合)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2021年11月9日朝刊



全国に先駆けて「カーボンニュートラルポート」を目指す方針が決まった清水港
＝静岡市清水区(本社ヘリ「ジェリコ1号」から)

水素利用 官民で推進

清水港脱炭素へ検討会

今月発足

①見出しの「脱炭素」とはどんなことか。

(例)地球温暖化の原因とされる二酸化炭素(CO₂)排出ゼロを目指すこと。

②一般に港湾地区での二酸化炭素排出の現状はどうか。

(例)(港湾地区は一般に)発電所や鉄鋼、化学工業などの拠点となっており、CO₂国内排出量の6割を占めるとの指摘もあり、CO₂削減の余地が大きい。

③「環境にやさしい港」として、清水港で想定している新たなエネルギー源は何か。

(例)(太陽光よりも効率がよい次世代エネルギー源として期待される)水素やアンモニア

静岡市の清水港で、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素(CO₂)排出ゼロを目指す官民の検討会が今月発足する。関係者への取材で8日分かった。「カーボンニュートラルポート(CNP)」を目指す官民の検討会設置を後押しする国の制度が2022年度にできることを見越した動き。中部横断自動車道の開通などで一層の

利用促進が期待される清水港で、全国に先駆けて手を上げ、採択を目指し、環境に優しい港を発信する。CNPに向けた検討会は「2050年カーボンニュートラル」を宣言した政府の政策に沿って、来年度に設置を後押しする費用などを国が初めて予算化する方針。国交省は9億円を概算要求している。清水港では県と静岡市が石油元売り国内最大手のENEOS(エネオス)とそれぞれ、静岡市清水区袖師地区

清水港管理者の県などは、先行して議論を始める。制度がスタートする来年度当初、全国に先駆けてこの新制度に応募する。検討会の中核的議論になるのは太陽光よりも効率が高い次世代エネルギー源として期待される水素やアンモニアの活用。荷役機械のうち通称「キリン」と呼ばれるガントリークレーンや「RTG」と呼ばれるタイヤ式門型クレーンを水素由来の電力で稼働させることなどを想定する。

清水港では県と静岡市が石油元売り国内最大手のENEOS(エネオス)とそれぞれ、静岡市清水区袖師地区にある同社清水油槽所の遊休地(約20畝)の活用で合意書を取り交わしている。50年までのロードマップ作成を一義的な目的とする検討会の取り組みでは、エネオスの遊休地活用が話題になる可能性もあるとみられる。今月設置する検討会に同社の参加を期待する声の関係者がある。港湾地区は一般に発電所や鉄鋼、化学工業などの拠点となっていて、CO₂削減の余地が大きい。国内排出量の6割を占めるとの指摘もある。CNPの実現は「50年カーボンニュートラル」に資することから全国で同様の動きが芽生えている。

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校/社会、総合)